

「いしかり生きものかけはしビジョン（石狩市生物多様性地域戦略）の策定について」に寄せられた意見と検討結果

【パブリックコメント実施期間】 令和5年11月1日（水）から令和5年11月30日（木）まで

【担当部局】 環境市民部自然保護課

【意見提出者】 7人

【意見件数】 85件

【意見への対応】	採 用 :	意見に基づき原案を修正するもの	15件
	一部採用 :	意見に基づき原案を一部修正するもの	5件
	不 採 用 :	意見を原案に反映しないもの	7件
	記 載 済 :	既に原案に盛り込まれているもの	4件
	参 考 :	原案に盛り込めないが今後参考とするもの	1件
	そ の 他 :	ご質問・ご意見として伺うもの	53件

【意見の検討経過】 令和5年12月1日～令和6年1月18日 当課及び関係部局において意見の検討及び検討結果（案）の作成
令和6年1月22日 広聴・市民生活課に合議のうえ、市長決裁にて最終決定

「いしかり生きものかけはしビジョン(石狩市生物多様性地域戦略)の策定について」に寄せられた意見と検討結果

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	1. いしかりいきものかけはしビジョン策定背景と目的 ◇大変素晴らしいことが書かれてれていると思います。	その他	ビジョンの策定背景と目的についてご理解いただきありがとうございます。変更修正が必要でないためご意見として承ります。
2	第1章 ビジョンの基本的事項について p5 1.1 いしかり生きものかけはしビジョン策定の背景と目的 ここではまず、p19 で触れている昆明・モントリオール生物多様性枠組(2022年12月)と生物多様性国家戦略2023-2030(2023年3月)で、世界の動向、日本の動向がどうなっているかである(地球上での人間活動により、地球の自力回復ができなくなってしまった状況を正しく認識し、どのような対策をとるのか)。このビジョンが石狩市「生物多様性地域戦略」であるということは、国際的な生物多様性条約のもと、国内法である生物多様性保全法の規程に基づき地域戦略の策定が地方自治体に求められているという流れがあるからである。上記動向の記載をお願いします。その上で、石狩市における生物多様性保全の必要性を述べることになります。	その他	全体の位置づけを示していますが、生物多様性条約→国家戦略→地域戦略への流れが分かるような記述を検討します。
3	1.1 では、生物多様性とは何か、意味と意義の説明が必要です。	記載済	7 ページに記載しています。
4	71 から 73 行目 「大都市札幌に隣接するまち」→「都市」では？ 「数多くの希少種」数字で示すことはできないか？	その他	親しみやすさを考えて「まち」としています。 環境省や北海道が指定している希少種ではありませんが、本市として保全の必要がある種としての「注目種」を別添資料④に記載しています。
5	72 行目 「それぞれに特化した」の意味がよくわからない。	採用	「それぞれに」を削除し、文章を修正します。
6	74 行目 かつてない速度で変化している→どう変化しているのでしょうか？	その他	本文に「例えば、豊かな生物多様性を擁する熱帯では、2010 年から 2015 年までの間に 3,200 万ヘクタールの原生林や二次林が消滅しました。」と追記します。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
7	75 行目 引用文献「IPBES 生物多様性～」は、どこが何年に発表した文献なのか、脚注を読んでもわからない。	その他	脚注に追記します。
8	75 行目 （「IPBES 生物多様性・・・報告書 1」）の部分は、最後の「右肩 1」を、括弧の前の「といわれており」の「り」に付ければ、他の部分は消して大丈夫です。脚注の情報として、この報告書が出された西暦と、IPBES が何の略なのかの説明がほしいです。脚注の説明は分かりにくいです。	その他	本文を修正し、脚注にも追記します。
9	76 行目 石狩浜の海浜植物群落の衰退、縮小が懸念されており→参考にした文献の出典の記載をお願いします。	その他	「海浜植物群落の衰退、縮小の懸念」に関する詳細は、石狩浜アクションプランに記載します。
10	76 行目 「海浜植物群落の衰退、縮小が懸念」とあるが、それはどこのことなのか？	その他	「海浜植物群落の衰退、縮小の懸念」に関する詳細は、石狩浜アクションプランに記載します。本文では、個別の地域や種を指さず、「自然環境の変化等によって、石狩浜の植生の経年変化、増加する野生鳥獣との軋轢（エゾシカやヒグマなど）、外来種の増加など、もともとの生物相に影響を及ぼしてます。」とします。
11	77 行目 「過去にたくさんいたはずの生物が見られなくなっていることもあります」そのような事例はあるのか？	その他	No10 の検討内容を参照下さい。
12	77 行目 過去にはたくさんいたはずの生物が見られなくなっていることもあります→具体的に、数字を使って例を示してください。	その他	No10 の検討内容を参照下さい。
13	77 行目 「過去には見ることが少なかった生物を目にすることが増え、」この部分は不要と思う。	その他	No10 の検討内容を参照下さい。
14	77 から 79 行目 反対に、過去には見ることが・・・事例もあります。→やはり具体的に、数字を使用して記載した方が、説得力が出てきます。	その他	No10 の検討内容を参照下さい。
15	80 行目 「こうした問題」問題の設定が曖昧だと思う。	その他	短期的な対策で解決しない問題については、第 3 章「課題と現

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
			状」に詳しく記載しています。
16	81 行目 「広範囲に移動する生物の保全」とは何のことなのか？	その他	渡り鳥やエゾシカ、ヒグマなど行動範囲が広い種を指しております。
17	83 行目 「本市に残る」という表現はすでにかかなりの生物多様性が失われていることとなるが、そうとは言えないのではないか？	その他	IPBES の評価書報告にある通り、50 年前と比較すると当時よりも世界中の自然環境自体の面積は減っており、種数も減っています。
18	83 行目 「損失が進んだところでは回復できるように努め」それはどこなのか？	その他	現状としてどここの場所ということは指定していません。
19	83 行目 「本市に残る生物多様性を維持し、損失が進んだところでは回復できるように努め」→この記述を読むと、石狩市の自然は相当に破壊され、生物多様性が残っている場所は少なく、なくなった場所の自然を復活させなければならない状況にあるように思われますが、違和感を覚えます。また、86 行目にも「残された自然環境と」とあり、石狩には自然が少なくなったという印象を与えますが、そうなのでしょうか？	その他	石狩市には現在も残る豊かな自然環境はありますが、残念ながら破壊されて損失が進んだ場所があることも事実です。文章に対しての印象につきましてはご意見とし承ります。合わせて No17 への回答も参照ください。
20	2, 位置づけ ◇「石狩市総合計画」を上位計画としとあるが、先ずは「豊かな自然と多様な生物」を上位として考えていかなければ 1、 <u>いしかりいきものかけはしビジョン策定背景と目的</u> とかけ離れた状況になっていくと思う。	その他	本戦略は、「石狩市総合計画」が目指す目標と国が目指す生物多様性国家戦略を本市の環境面から実現するための地域戦略です。
21	P6 1.2 位置づけ 102 から 106 行目 ここでは、ビジョンが「石狩市環境基本計画」を上位計画とすることしか述べていないが、図 1-1 に示しているように、「生物多様性国家戦略 2023-2030」を上位計画とするもう一本の流れもあるので、そのことを本文中にも記載しなけれ	採用	本戦略は、生物多様性基本法第 13 条に基づく地域戦略として策定します。という文言を追記します。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	ばならない。		
22	122 行目の「【石狩市】石狩市総合計画」と127 行目の「石狩市総合計画」がダブって記載されているが、おかしくないか？	採用	図 1-1 を修正します。
23	126 行目から 132 行目にまたがる緑色の囲みの中に「石狩市 風力発電ゾーニング計画書（平成 31 年 3 月）」も入れるべきではないか？	採用	図 1-1 に追加します。
24	図 1-1 について 「(日本) 環境基本計画」の下に、「(日本) 生物多様性国家戦略 2023-2030」と「北海道生物多様性保全計画」が位置づけられているが、別個のものなので、はずすべき。「(日本) 生物多様性国家戦略 2023-2030」の下に、「北海道生物多様性保全計画」と「石狩市生物多様性地域戦略」の両方が位置付けられます。北海道の下に石狩市の戦略はきません。右下の緑色の枠の中に「石狩市風力発電ゾーニング計画」も入ると思います。環境保全エリアを決め、自然環境も含め守る場所を明示しています。	採用	図 1-1 に追加します。
25	6 ページ 本ビジョンの位置づけ（図 1-1.） 図の中に、「石狩市総合計画」が 2 か所にあり、上位計画という関係が混乱した図になっていて不備です。 「北海道生物多様性保全計画」の北海道生物多様性地域戦略が現在検討中であり詳細が見えない中で、石狩市の総合計画のさらに上位に位置しているのは、隣接市町村 5 つ（札幌市、小樽市、当別町、新十津川町、増毛町）、関係振興局 4 つ（石狩振興局、後志総合振興局、空知総合振興局、留萌振興局）と関係しているからかと思います。 地理的に複雑な関係を持つ石狩市が生物多様性を語る場合に、北海道との連携が必要不可欠なことは、疑いようありません。	一部採用	図 1-1 を修正します。 本戦略はあくまでも石狩市環境基本計画や、生物多様性国家戦略が上位計画として位置付けているため、北海道生物多様性保全計画とは連携をしつつ、平行して本市の生物多様性戦略を検討します。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	石狩市生物多様性地域戦略が北海道との連携が少ないままに策定されてはならないと思います。 「北海道生物多様性保全計画」の改訂を待って「石狩市生物多様性地域戦略」を策定できませんか？ 札幌市生物多様性地域戦略に引きずられているような気がします。札幌市にはないものが、石狩市にはあるのだけれど・・・と思っています。 また、石狩市には「石狩市風力発電ゾーニング計画」が策定されています。個別計画の中に、これを忘れていませんか？ スケジュールを伸ばしてでも、もう少し地元情報を把握しなければ、現状の課題の把握にはならないと思います。現状を把握せずして、出てくる課題とは、一体何なのでしょう？「石狩市総合計画」に出てきた課題、そのままではありませんか？ 果たして、石狩市の生物多様性保全のための課題とは、少々異なってくるのではないのでしょうか。		
26	7 ページのコラム 「要修正」となっているので、修正するのだろうが、 生物多様性とは？の説明内容は、1992 年の国連環境会議（地球サミット）で採択された「生物多様性条約」の第 2 条の内容を記述したものだと思うが、コラムでは最後に突如「提言しています」と結んでいて、誰がどこで提言したのかわからない。	一部採用	生物多様性条約で提言しています。分かりにくい表現でしたので文言を修正します。
27	第 2 章 石狩市の生物多様性について 「第 5 章 施策」p23・24 に「【生物多様性の保全条重要な地域】石狩浜」の囲み記事が記載されているが、2.2 に掲載するべきと思う。	不採用	個別地域のアクションプランと繋がっていくため、第 5 章に記載しています。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
28	第2章 石狩市の生物多様性について 全般に情報収集量が少なく、大変問題だと感じています。石狩市の生物多様性について、この章でしっかり正確に把握しなければ、次のステップの分析もできず、対策も検討できません。手抜きをしてはいけない場所です。	その他	文章上すべてを明言することは難しく、また生物多様性は複雑であるため全てを把握することも困難ですが、引き続き情報を蓄積していきます。
29	p8 2.1 広域から見た石狩市 このページで何を伝えたいのか、すんなり理解できずにいます。第1段落では石狩市の位地、大きさ、周辺自治体との関係、そして石狩川に触れ、関連する生きものとしてサケを取り上げています。第2段落では、長い海岸線と内陸の水環境（具体的にどこなのか示してほしい）がオオハクチョウ等の渡り鳥の移動に利用され、アザラシ・トドの目撃、ウミウ等の海鳥のコロニーがある浜益区の海岸の説明をしています。長距離移動する動物と石狩市の関係を伝えたくて、石狩市とその周辺の広い範囲を紹介しようとしているのでしょうか？それならばそうだと前置きしてくれると理解しやすくなります。	その他	文章を精査し、より分かりやすい記述を検討します。
30	「石狩湾に接する長い海岸線や内陸部の水環境は、渡り鳥が移動する際の中継地点として利用され、オオハクチョウやカモ類、シギ・チドリ類、オオワシが飛来します。アザラシやトドといった海獣類も石狩浜で目撃されることもあります。また、ウミウ・オオセグロカモメなどの海鳥のコロニーが見られる雄冬海岸、柱状節理2が発達した火山岩が見られるルーラン海岸などがあります。」と書かれています。 ここが今石狩市に残されている石狩市が誇れる自然環境ではないでしょうか。 この海岸の数キロ先に洋上風力発電建設計画を入れてきたのは	その他	気候変動からの影響は生物多様性も大きく受けています。生物多様性保全のために地域と共生した社会課題解決を進めていけるように、エネルギー対策のご意見として担当部署とともに検討します。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	石狩市です。 厚田区にもたくさんの大型・小型風力発電計画があります。 石狩市生物多様性地域戦略策定の意図が伝わってきません。		
31	160 、シギ・チドリ類、オジロワシなどの猛禽類が飛来する としては？	一部採用	中継地点としての他に越冬地、繁殖地としての利用があることから、その点についても追記修正します。
32	地図について 図 2－1. 隣接市町村名が読み取れるようにしてください。また、広域的に見える化するために、石狩湾（雄冬岬～神威岬まで）に面する市町村名も図示してください。できでしたら、振興局名も入れてください。	その他	地図の性質上表現に限界がありますが、可能な範囲で検討します。
33	p9「2.2 石狩市の成り立ちと代表的な生態系」というタイトルだが、「成り立ち」より素直に「自然」とした方が良いと思う。「成り立ち」という言葉は、あるものができあがるまでの過程を思い描いてしまう。	採用	文言を修正します
34	p9 2.2 石狩市の成り立ちと代表的な生態系（石狩市の自然と代表的な生態系） 第 1 段落では、森林面積に触れたのち、浜益区の暑寒別山系とこの地域に生息するエゾヒグマを紹介し、第 2 段落では、旧石狩市域のマクンベツ湿原、石狩浜等の自然地に触れ、海浜植物群落と天然生海岸林を紹介していますが、これだけでは不十分です。市域全体で見た時の森林面積、農地面積等の情報提示することと、市域を、旧石狩市域、厚田区、浜益区に分け、それぞれの地域での主な生物多様性に関わる自然地をリストアップし簡単な説明が必要です。同時に各地域の地図上での表示も必要。旧石狩市域であれば、発寒川、茨戸川、石狩川、石狩川放水路、マクンベツ湿原、防風林群（花川南・北、斜め、工業団地内、基線、筋交等）、遮断	記載済	別添資料③に記載しています。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	緑地、紅葉山砂丘（砂丘林）、紅南公園自然林、発寒川河畔林、海岸林、石狩砂丘（砂丘草原）、はまなすの丘公園、石狩浜、紅葉山公園、ふれあいの杜公園、サスイシリの杜公園、樽川公園等。記念保護樹（アカダモの一本木等）。身近な自然（八の沢自然林）。そこで観察される動植物の情報をわかっている範囲で記載（北生振や高岡の水田に春先、千羽近いコハクチョウが落穂を食べに飛来するなど）。厚田区は、厚田川、ボクサナイ川、海岸段丘、畑地、水田、厚田公園（ボクサナイ地区）、戸田記念墓苑、望来海岸、聚富原生花園、堀頭湿地？等。		
35	186 行目 北部（浜益区・厚田区）に位置する・・・→暑寒別山系は厚田区には存在していないので、括弧内の厚田区は削除してください。	採用	「厚田区」を削除します。
36	「マクンベ ツ湿原、はまなすの丘公園、 石狩浜、花川北防風保安林などの自然が残っています。 石狩浜は国内では数少なくなった砂浜の自然海岸の一つで、海岸砂丘上に海浜植物群落 4 が残り、背後には連続してカシワを主とした天然生海岸林 5 が広がります。」と書かれています。 石狩市に住んで 45 年近くになります。どこも素晴らしい守るべき自然と皆が考えています。 しかしこれを石狩市自ら壊していつています。 マクンベツ湿原近くのゴルフ場には数年前からカモメが休みに来ると聞いています。 海岸近くは風車が多くて避けているのではないかと断っていました。 トビは少なくなったと住民みんな断っています。 はまなすの丘にいくと風車ばかりが目に入ります。将来的には	その他	No30 の検討内容をご参照ください。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	目の前に 250m～300mの洋上風力発電が見えるようになるのでしょうか。 巨大風力発電の影響は風を遮り温暖化を進め、柏林、花川北防風保安林にも影響してくると思います。 温暖化対策として大型・小型風力発電、太陽光発電が次々と出来て、石狩市民ばかりではなく札幌や小樽の住民も嘆いています。 景観が悪くなるばかりです。		
37	p10 「2.3 石狩市の人々と自然の関係」は「2.3 石狩市の人々と自然との関係」では。	その他	修正について検討します。
38	第3章 現状と課題について P11 3.1 地域（地域の保護・保全） 249 行目 「近隣の市町村にまたがる」の部分は削除したほうがすっきりします。	その他	修正について検討します。
39	図2-2と図3-1.の石狩市地図が縦と横の縮尺が違って、つぶれた形の地図になっています。石狩市の地図を知らない人もいるので、縮尺は、同じにしてください。 図2-2.の場所には、37 ページの「石狩市内の自然保護地図」などの石狩市全体の自然がわかる図にしてください。	その他	図の修正について検討します。
40	196 花川北防風保安林→遮断緑地や様々な防風保安林 とし ては？	一部採用	「防風保安林」に修正します。
41	花川南防風林には、クロミサンザシ、チョウジソウ、クゲヌマランなどの希少種がありますが、禁伐林として石狩の先人が守ってきたものです。花川北防風林だけが9 ページ 195 行で取り上げられているのはなぜですか？	不採用	全体のバランスや、石狩市自然環境調査の結果等を用いながら掲載内容を吟味しており、記載できなかった情報も大切なものであることは重々承知しておりますので了承ください。
42	p10 2.3 石狩市の人々と自然の関係（石狩市の人々と自然との	不採用	本市には多くの自然とともに、各所で活躍している市民活動が

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	関係) 歴史を追って記載しているように見えるので、そうなら、そのようにまとめた冒頭にあると分かりやすい。サケに関しては石狩十三場所は有名なので記載してほしい。ハマナスの花びらを集めて香水の原料にしたこと、アイヌの人々がハマナスの実を首飾りにしたり、冬に食べてビタミンCの補給に利用していたことなどの記載もほしい。現在のこととして、石狩浜等の海水浴場で海の自然に触れたり、景観を楽しむことでは、道の駅あいろうど厚田で日本海に沈む夕日の絶景、望来の坂から厚田港方面の海の風景、シップ付近の段丘の坂の上から札幌方面の遠景などがあげられる。いしかり海辺ファンクラブが石狩海岸沿いの複数のルートをつットパスとして開拓したこと、石狩砂丘の保護区になっていない部分の柵の見回りと補修活動を行なっていること、石狩遺産プロジェクトMが、「石狩海岸」「防風林群」を石狩遺産に選定し、市民に重要性和価値を知らせ保全につなげようとしたこと、「森林ボランティアくまげら」が、厚田の千年の森で植樹活動をしたり、緑苑台小学校児童に対して森林学習を提供していること、石狩市緑化推進協議会が防風林等に樹名板設置活動を行い、防風林そばの花川南小学校や南線小学校の児童へ防風林学習を提供していること、石狩浜夢の木プロジェクトが遮断緑地の花川通延伸により消失するオオバナノエンレイソウの移植・保護活動を行なっていること、浜益区では、濃昼山道や増毛山道の復活、維持管理をそれぞれの守る会が行なっていること等、自然と関わる活動が行われていることは記載すべきです。		ありますが、全てを記載することはできません。本市の事業として個々の報告書に載せていることを選抜して掲載していますのでご了承ください。
43	石狩市緑化推進協議会は毎年植林などの事業を行っています。小学生も一緒に植林します。生物多様性を考える場合に、石狩市	不採用	No42 の検討内容をご参照ください。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	の建設水道部が行っている事業に触れていないのはなぜですか？		
44	217-219 文章の主語述語が混乱していて理解困難です。文章の校正が必要。	採用	文章を修正します。
45	誤植 10 ページ 226 行 「植民区画」は、「殖民区画」ではありませんか？	採用	ご意見のとおり「殖民区画」に修正します。
46	第3章 現状と課題について 「第5章 施策」に現在取り組まれていることがかなり記載されている。それらは、現状のところに記載されるべきでは。	その他	現状と課題では石狩市域における自然資源の状態と直面している課題を紹介し、第5章では現在取り組んでいるものも含め、課題の解決に向けた取り組みを紹介する構成となっています。
47	p11 「3.1 地域」というタイトルだが、第5章の施策 「5.1 地域を面的・空間的に保全」との対応を考えると、「3.1 地域の保護・保全」のようなタイトルの方が分かりやすいのでは？	その他	有識者も含めて検討します。
48	250 行目 石狩市域でみられる自然地形を列挙しているなら、海蝕崖、海岸段丘も必要では？ 「隔離的に残る湿地」とはどこの湿地なのでしょう？分かりにくいので地名を入れてほしいです。	その他	文章を精査し、より分かりやすい記述を検討します。
49	251 行目 文末に関連する図の番号を入れてください。この場合（図 3-1）と記載。	その他	文章を精査し、より分かりやすい記述を検討します。
50	256 以下に“石狩湾沿岸域は環境省により「生物多様性の観点から重要度の高い海域 沿岸域 17501 に指定されている。” ことにも触れて欲しいです。	採用	「生物多様性の観点から重要度の高い海域」として抽出されていることを追記します。
51	260 行目 「全国でも珍しい海浜植物」とあるが、海浜植物は珍しくはなく、「全国でも珍しい石狩市海浜植物等保護条例によって海浜植物を保護するなど」となるのでは。「法によって」は「法令によって」のほうがよいのでは？	その他	文章を精査し、より分かりやすい記述を検討します。
52	262 行目 「自然環境調査の実績は多くはなく」とあるが、時代	その他	本市で把握している調査のうち、石狩浜で調査した記録につい

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	は古くても全く役に立たないというものではない。その当時の自然情報を提供してくれるのだから、きちんとリスト化して付録につけるべきです。石狩市環境課の講習を受け、環境活動員として登録した市民が調査したものもあります。与那覇モト子さん（北大総合博物館での標本の分類作業を担当）が参加しており、信頼度は高いものになっています。		では石狩浜アクションプランで調査記録として記載しています。
53	「地域で自然環境調査の実績は多くはなく、条例等で保護区に指定されたときに調査した以降の情報は十分とは言えません。 本市では、自然環境や野生動植物の基礎情報を収集するため、平成 30 年から令和 3 年に自然環境調査を実施しています。 しかし、4 年間で実施した地域は局所的であり、生物の生息、生育状況が不明瞭な地域はまだ多く残されています。 保護区内外に関わらず、生物多様性上重要な場所の情報を把握し、保全の必要性などを判断するためにも、範囲を広げて基礎調査を実施し、明らかにしていく必要があります。また、既に調査をした地域であっても、自然環境や動植物の個体数などの経年変化を把握することは非常に重要です。 また、本市は他市町村と陸だけではなく、川や海を通じて繋がっています。国定公園や河川、防風林、海浜地などは土地の管理者が多岐にわたることから、隣接地域の管理体制、事業の実施にかかる法令、計画、戦略、条例などが異なります。保全が必要な地域は、複数の管理者が所有していることも多く、効果的に保全を促進するためには、関係主体との情報共有・連携を通じて対策をする必要があります。」と書かれています。 6000 万円かけてゾーニングをしました。その時はそれにデータを積み上げていくようなことを言っていました但その後どれだ	その他	現在、気候変動による生物多様性は急速なスピードで損失をしています。生物多様性保全のための気候変動対策は必要な対策のひとつです。生物多様性を配慮した気候変動対策を引き続き検討します。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	けの情報を把握して、企画課などと情報を共有してきたのでしょうか。 風力発電計画がある以上、10年20年後まで、まだ残っている素晴らしい生物多様性が保全できるとは思えません。 小樽から見た石狩市、石狩灯台の景観、厚田浜益へ向かう道路からの景観は今後ますます悪くなると考えます。 環境課の職員の皆さん。子供たちに素晴らしい環境を残すよう考えてください。 本当に石狩市の自然が壊されていくことが残念でなりません。		
54	272 行目 「計画、戦略、条例」とあるが、戦略（計画の一種）は削除してもよいのでは。	その他	ご意見として承ります。
55	277 行目 鍵マークの行は何を意味しているのか理解できないので、説明をつけるべき。	その他	文章を精査し、より分かりやすい記述を検討します。
56	317 3. 2 希少種の内容については、希少植物種についても記述がほしい。（参考文献 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告第3号 石狩海岸林の植生概要）	記載済	別添資料④に注目種として一部記載しています。
57	アカモズの写真が掲載されているがアカモズの現状についての文章も記述しておくべき。	その他	アカモズについては、希少種情報であり公開の是非について専門家を交えて検討しているところであり、写真と名前のみ掲載しています。
58	422 海洋から注ぎ込む→海洋から吹き込む。	採用	修正します。
59	463-464 … が大前提ではありますが、影響がある場合もあります。	不採用	ご意見として承ります。
60	483 ヴィジターセンターの2階にも自然環境を学べるコーナーがあります。	その他	市の報告として数多くある事例案件の中からより抜いて記載しております。
61	第4章 基本方針・目標について	不採用	第三次環境基本計画策定時にはなかった生物多様性に対する国

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	P19 4.1 基本方針 541 から 515 行目：「追加した」という表現は不適當。→・・・計画で設定した2分野【自然環境分野】生物多様性と、【連携・協働分野】教育・パートナーシップを取り上げ、それぞれの目指す姿（長期的な目標）及び取り組み・施策方針を基本としています。		際的な考え方等を盛り込むことで、よりよい生物多様性の保全を目指しています。
62	519 から 532 行目の図：第3次石狩市環境基本計画との整合性を正確にしていきたい。混乱します。施策方針に記載されている大きく4つの取り組みに対応する施策方針の表現は、基本計画と同じにすべき。 519 行 右側「施策方針」→「取り組み・施策方針」 524 から 525 行 右側「②自然との共生」の一つ目「持続可能な自然の利用」は、基本計画にはないので削除。「防災・減災機能を活用する Eco-DRR の推進」「市民が自然を学び、楽しめる自然情報の普及啓発」を追加。 他の施策の表現も基本計画と同一表現にすること。	その他	環境基本計画の方針をもとに、その後に改正された生物多様性国家戦略等での表現を新たに組み込んでいることから、より最新の表現としています。
63	534 から 536 行 536 行の「Eco-DRR の概念」はすでに環境基本計画で取り上げているので記載は不要。昆明・モントリオール生物多様性枠組と生物多様性国家戦略との関連づけをしたいのだと察するが、詰め方が甘いと思います。国家戦略1から5の行動目標との関連を整理するとよいのでは？	その他	本市の生物多様性として重要と考えている事柄について記載しております。国家戦略等についてはあくまでも上位計画ではありますが、当市の自然状態を踏まえて課題と対策を整理しています。
64	p19 には、「関係主体」という言葉が複数回出てくるが、具体的にどのような関係者が含まれるのか、この言葉が初めて出てくる場所に注釈をつけてほしい。出てくる場所によって、関係者の内容が異なっているのではないかとと思われるので、明確にしてほしい。	記載済	「関係主体」については、6章に記載しています。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
65	538 から 544 行 再エネ、特に風力発電の導入（洋上・陸上）に積極的な石狩市は、生物多様性保全を犠牲にする取り組みは行わないことを明記していただきたい。再エネ推進部局との連携を確実にすることも明記するべき。	その他	現在、気候変動による生物多様性は急速なスピードで損失をしています。生物多様性保全のための気候変動対策は必要な対策のひとつであり、引き担当部署との連携に努めます。
66	P20 4.2 目指す姿と行動目標 547 行 「第2章であげた課題及び施策方針をもとに、2040 年までに目指す姿と、」→下線部について：第3章では？第3章のタイトルは「現状と課題」であり「施策方針」を記述したとは書いていない。第3章であげた課題と、前ページ 4.1 の取り組み・施策方針をもとに、ということか？	一部採用	第3章に修正します。
67	3, 目指す姿と行動目標 ①ご存知のことと思いますが、石狩浜は北海道自然環境保全指針で定める「優れた自然地域」に指定されています。生物多様性に富んだ海辺の自然環境が(沿岸約2.5km)残された全国的にも貴重な自然海岸です。しかし小樽市銭函海岸に2018年銭函風力発電(10基)の工事が始まり、砂浜の掘削や基礎のコンクリートの流し込みなどで多くの自然環境(生物・植物など)と景観が破壊されました。 石狩市には「優れた自然地域」である石狩浜の保全に力を注いでいただきたいです。 ②現在ボランティア団体が何年にも渉り、石狩浜や防風林の観察・外来種の除去や自然環境の維持や啓発を行っています。 市は上記のような地域での活動団体に、積極的にかかわり、学習会の企画・講師の依頼などを有償で行っていただきたい。長年にわたり蓄積してきた知識、知恵を無償で頂くわけにはいきません。	その他	①石狩浜については、別途「石狩浜アクションプラン」を定めて保全を進めていきます。 ②本市には様々な自然で活動する団体がありますが、全員に支援等はできません。市の目指す方向性と沿った市民団体とは連携して情報の共有を図っていきたいと考えています。 ③砂丘の風資料館の担当者に共有します。 ④太陽光発電や風力発電も、気候変動対策の1つとして取り組んでいます。生態系への負の影響を最小化しながら再生可能エネルギーの導入を進める必要があると考えています。 ⑤ご意見として承ります。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	現在は働く方が多くなり多忙の中、時間的にも経済的にも厳しい中で、無償ボランティアでは、後に続く方が育ちません。結果自然への眼が失われ、自然が荒廃していくと思われます ③市の施設「いしかり砂丘の風資料館」の学芸員の方々の活動活躍には頭が下がります。しかし、施設が手狭と感じます。多くの方達に訪問していただき、充実した内容と知識を学芸員から直接伺える施設にしてください（団体対応もできる施設に）。このことにより石狩の成り立ちや歴史に興味を持ち、石狩を愛する気持ちが湧いてくると思います。 ④自然資源 値域資源の活用地球問題にかかわる保全 近年は草原であった場や農地などにも太陽光発電パネルが並び、草原を利用し命を繋いできた動物、鳥類は行き場を奪われています。生物多様性を守るには程遠い状況です。渡り鳥などは季節の生活圏を奪われた状況になります。人間は他の生物と運命共同体です。人間生活の便利さや欲望で、他の生命を危機にさらすことは、人間にもその影響は出てきます。今の世界的な異常気象もその結果ではないでしょうか。 又日本海側は再エネ促進により風力発電に〈ポテンシャルが良い〉という文言で、<u>海外では健康被害が出たことから、離岸距離は22km程とっている事案があります。</u>この事を企業は知りながら隠し、また日本政府は国内では実証がないなどと理由をあげ、生活圏に驚くべき近い距離でお風力発電を許可しています。大型風車の近距離での乱立！目に余るものがあります。人が安心安全に暮らしていく権利を奪うものです。 ⑤生物多様性の社会を維持するためにも農業・漁業などの一次産業を大切にし、丁寧で今より小さな生活（我欲の少ない）を目指		

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	すことが大切だと感じます。 石狩市行政側は住民を守り、住みよい住みたいと思える<u>いしかりいきものかけはしビジョン</u>を作成していただきたく、よろしくお願いいたします。 * 先日の厚田学園、道の駅での長時間にわたる停電（蓄電池も稼働できず）、２０１８年のブラックアウトの経験で分かったように、風車は何基も建っている石狩市でも、役に立たなかったのは事実です。 寒い時期の今回の停電で健康被害者が出なかったのか心配です。		
68	549 から 550 行の間にある表（本文中の図と表について番号とタイトルが必要）の左の列の一番上の記述「地域の面的・空間的に保全」→下線部の「の」を「を」に（p21 第 5 章施策の「5.1 地域を面的・空間的に保全」に対応するので）	採用	「を」に修正します。
69	環境省は、このページに記載されている「2040 年までに目指す姿」と「2030 年時点での行動目標」については、市民を含めた石狩市内の様々な立場の人、及び、市役所内の関係部署も加わり、みんなで作りあげていくことを推奨していた。そのプロセスが重要な意味を持つからなのだが、「絵に書いた餅」になる懸念がある。	その他	過去の本市の事例を参考に進めました。これまでは有識者がいない中で事業計画を計画することが多く、それによって科学的なデータの収集がかけていたため、今回はその点に重点的を置いて対策をすることとしました。
70	833 石狩浜夢の木プロジェクトが防風保安林の稀少植物の保全を、また石狩海辺ファンクラブは石狩浜の植生の調査や保全を市民活動として行っています。	不採用	市の報告として数多くある事例案件の中から、より抜いて記載しています。
71	842 にしん→ニシン？	採用	「ニシン」に統一します。
72	32 ページ ○気候変動対策における再生可能エネルギー導入への配慮 とありますが、 大型、小型の風力発電所、大型、小型の太陽光発電所など数多	その他	ご意見として承ります。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	くの案件が出てきて、建設され、稼働したり、壊れたり、撤去されたりと、気候変動対策として再エネが導入されたのですが、銭函（小樽市）では、希少種であるイソコモリグモやアカダマスツポインタケという希少種のキノコが生えるようなところ（海岸草原）に風車が立ちました。地球環境を守るためと言いながら、身近な地球の自然を壊しています。銭函風力発電所を新たに所有した、東急不動産は虎視眈々と石狩浜に風力発電所を建設しようとして狙っています。これが、石狩市の直面している生物多様性の保全に係わる重要な課題であると、私は思います。		
73	第7章として、「策定の経緯」を記載してほしい。関わった有識者の会メンバー、環境審議会も含め検討・審議がされた場の記載も必要です。	採用	別添資料として記載します。
74	石狩湾の海の自然についても記載すべき。	採用	修正する中で石狩湾の概要についても触れるようにします。
75	地域戦略などという人間の浅はかな知恵で守ろうなどとはおこがましい。失ったものは致し方ないがせめて今あるものは大切に保護したい。自然資源を持続可能な形で活用とあるが、担当者はそれに対応できるだけの知識をもっているのだろうか？11/30日の道新、利尻山の植生回復の記事がある。よくよく読んでもらいたい。登山者の一歩が植生を変えと言っています。自然とはそれほど見妙なもの。風力発電建設の現場を見たことはありますか？幅10Mもの道路を作り、高みに本体を建てるまでにどれだけの自然破壊が行われているか。世界的課題とか、気候変動対策とか言葉の上だけの上滑りな対策は考えなおしてもらいたい。電送のための柏林一部伐採などいしかり生き物懸け橋としては反対したのだろうか。事業者の言いなりでは自然は守られない。日本	その他	太陽光発電や風力発電も気候変動対策の1つとして取り組んでいます。生態系への負の影響を最小化しながら再生可能エネルギーの導入を進める必要があります。市民の皆さんにもこういった自然の情報を引き続き伝えていけるように努めます。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	は自然に恵まれた環境のためか「自然」に関心、特に地方ではその傾向にある。しかし、自然が守られない国の将来は暗い。今後、洋上風車が林立した時に石狩浜は乾燥化しないだろうか？是非そういったことの知識を不安に思っている住民に伝えてもらいたい。そうした上で、ビジョン策定を考えてもらいたい。		
76	率直な感想： 学生のレポート（評価不可）の域を出ていない。文章表現が稚拙で、主語、述語の関係が正しくなく日本語になっていない箇所も散見される。今まで石狩市のパブコメに多数関わってきたが、最低レベルの内容であり、石狩市の質が問われると感じた。若い方が執筆したと思われるが、上司に当たる方は、公にする前にきちんと内容の確認・精査をし、執筆担当者への指導を行い、執筆者の能力向上に務める必要があると思う。石狩市について知らない人が書いていることは明らかで、長年、石狩市に暮らし、石狩市の自然に触れてきた立場の者としては、情報収集が不十分で、憤りさえ感じる。	その他	文章表現など改善すべき場所は改善に努めます。
77	2022 年 12 月に開催された生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）では、2030 年までの世界目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択されました。 これを踏まえ、わが国では 2023 年 3 月に「生物多様性国家戦略 2023-2030」が閣議決定されました。今までの国家戦略を全面改訂して「生物多様性地域戦略策定の手引き（令和 5 年度改訂版）」（令和 5 年 5 月 環境省自然環境局）が公開されています。 北海道では、この令和 5 年度改訂版国家戦略に基づいた地域戦略を現在、検討中です。	参考	本戦略の記載内容の参考にさせていただきます。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	わが石狩市では、令和4・5年にわたって「いしかり生きもののかげはしビジョン 石狩市生物多様性地域戦略」の策定を目指し検討しましたが、この素案では、パブリックコメントを行うには不十分な内容です。 『石狩市を知らない人が記述した文章』という印象がずっと付きまとっています。 石狩市の自然概況の包括的な把握が十分ではありません。 石狩市の地質・土壌・地形は生物多様性を考える上で、重要かと思えます。砂浜海岸・礫浜海岸・海岸段丘・丘陵地帯が広がります。丘陵の北には山岳地域がつながり、岩石海岸・海食崖を伴います。地形や地質によって多様な植生の変化が現れます。 また、石狩砂丘から5～6km内陸側に、6000年前の縄文海進時の海岸線である紅葉山砂丘の名残が点在しています。縄文海進に続く海退にともなって『砂堤列』の痕跡も海岸線と平行に残っているところがあります。 旧石狩市は、原生林を伐らずに残すようにして、防風林を設けできました。先人の知恵と努力の結果が今の防風林となっています。昔ながらの地形と植生を残しているところもあり、野鳥も訪れる自然豊かな場所です。 石狩市の地域戦略を委託外注することは、石狩市を知らない人が携わることになり、インターネット上の情報に地域情報や、地域特性が取り上げられていれば、利用できるかもしれませんが、そうでない場合は、このパブコメ素案のようになるのではないかと思います。 『石狩市を知らない人が書いた』文章の印象がぬぐえません。		

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	9 ページ 2.2 石狩市の成り立ちと代表的な生態系 では、石狩市を北部（浜益区・厚田区）と南部（旧石狩市域）に分けた考え方ですが、生物多様性の観点からは、これは違うと思います。 振興局としての「石狩」と地方自治体の「石狩市」との混同がないのか、と思ってしまう。		
78	さらに「いしかり生きものかけはしビジョン」を検討した『いしかり生きものかけはしプラン有識者意見交換会』のメンバーに石狩市在住者が含まれていないことと、非公開で傍聴すらできなかったことも、残念なパブコメ素案を生む要因だったのではないかと思います	その他	本検討会については、希少種情報が取り扱われるため会議を公開することはできませんでした。会議録や、市民参加手続き及び、昨年度開催した「いしかり生きもの座談会」の回覧を活用した「アンケートフォーム」など、対面・オンラインを活用してご意見を頂戴しました。 引き続き様々な形で市民の声を取り入れた戦略及びアクションプランを策定していきます。
79	生物多様性地域戦略の「いしかり生きものかけはしプラン有識者意見交換会設置要綱（令和4年4月1日要綱68号） 第5条—4には、意見交換会の会議は、原則として、これを公開する。とありますが、会議は非公開で、傍聴もできなかったのです。 市民参加手続きの観点から、問題を残した作りだと思えます。	その他	No78 の検討内容をご参照ください。
80	石狩湾の一般海域の洋上風力発電について 石狩市の加藤市長は、石狩市が策定した「風力発電ゾーニング計画」を石狩市環境審議会での審議を経ずに北海道を通して国に促進区域の指定へ向けて、情報提供をしました。これは「風力発電ゾーニング計画」の変更にあたります。変更する場合は、石狩市環境基本条例第11条—2により、市民等の意見を反映することや石狩市環境審議会の意見を聴かなければならないと明記されています。	その他	ゾーニング計画に対する意見として担当部署にも共有します。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	石狩市は、環境審議会で「風力発電ゾーニング計画」の変更について正式に議題に取り上げてください。 石狩市は、市民参加手続きを守りましょう！		
81	有望区域の風力発電ゾーニング計画のレイヤーについては、調整エリアとして重要なものが重なっています。 ①「生物多様性の観点から重要度の高い海域」 ②「主要な眺望点」から 5000m（1600m までは環境保全エリア） ③「国定公園」周囲 1600m～5000m（1600mまでは環境保全エリア） 国定公園については、海域も含まれるため陸域から約 2600m までが環境保全エリアとなり、有望区域とされている部分と重なるのではないかと思います。 私は、環境審議会できちんと審議してほしいと思います。	その他	ゾーニング計画に対する意見として担当部署にも共有します。
82	地域の課題解決という名目のもとで建設された再エネ施設での事故 「石狩市厚田マイクログリッドシステム」は太陽光とグリーン水素を活用した「防災力の強化」を実現する地方の新たな電力供給モデルとして、北海道からの補助金約 5 億円で、建設されたものです。 民間事業者による運営で地域づくりに貢献（令和 4 年 4 月 1 日事業開始）という謳い文句で、小学校に向かって太陽光パネルが並べられるなど無理な事業だと思っていました。 令和 4 年度「北国の省エネ・新エネ大賞」の優秀賞を受賞（経産省北海道経済産業局）しました。 しかし、2023 年 11 月 26 日、災害時対応のはずのシステムが、災害によりシステム全体が使えなくなりました。厚田区 5 公共施設で停電が発生し、ほぼ 1 日停電が続きました。冬の停電は、暖	その他	ご意見として承ります。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	房器具の運転ができなくなり、寒い思いをした人もいただろうと思いました。 地域の課題解決の再エネは、自然条件に左右され、災害対応のための施設ではなく、災害に弱い施設であることが判明しました。このようなお金ばかり食う施設は、安易に作らないでください。		
83	ウミガラス（オロロン鳥）が漁師の網にかかる 浜益の漁師さんの話です。沖でサケの流し網漁をしていると網にウミガラス（オロロン鳥）がかかるといいます。浜益沖をエサ場としてウミガラスが潜っているみたいです。何羽かかかったそうで、足環がついていたのを、山階鳥類研究所へ送ったら、「ハシブトウミガラス」だったそうです。これも希少種だと思います。 石狩浜で釣り糸に絡まったウミガラスの死骸を見つけた人や、昨冬、雪の石狩浜で死骸を見た人もいます。 石狩湾はウミガラスやほかの野鳥にとって、重要なエサ場なのではないでしょうか？	その他	本戦略で活用できるか分かりませんが、希少種の情報として蓄積します。
84	オシヨロソウ（バシクルモン）希少種（環境省ⅠA、北海道Ⅴu） 海岸の岩場にありますが、忍路海岸で初めて採取されたので、この名前がついたようですが、石狩の海岸にもあります。アイヌ語のバシクルはカラス、モンは草の意だそうで、「カラスの草」とは、見た目とはかけ離れた名前だと思っていました。ウミガラスのカラスなのではないか、黒っぽい鳥のウトウやウミガラスを指していて、そんな鳥のいるところに咲く花の意ではないかと思いました。 私の友人が、バシクルモンを探して崖を登ったところで、ウミガラスの死骸を見つけた話をしてくれました。バシクルモンやウミガラスのいるところを、ずっと残したいです。	その他	本戦略で活用できるか分かりませんが、希少種の情報として蓄積します。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
85	秋サケ漁獲数 34%減 定置網 10 月末 好漁の前年下回る（北海道新聞、2023. 11. 11） 新聞によると、北海道が 11 月 10 日に公表した秋サケ定置網漁の漁獲速報によると、10 月末時点の漁獲数は、前年同期比 34. 3% 減。5 海区別（オホーツク、根室、日本海、襟裳以東、襟裳以西）の漁獲数では、石狩市の関係する日本海は 71. 3%減でした。 今年、石狩湾新港区域内に 14 基（112, 000kW）の洋上風力発電施設が建設され、来月には稼働予定です。石狩湾に沿って、サケなどの稚魚が北上して外洋に出ます。 沿岸に風力発電所を建設することの本当の影響が、これから現れることになります。しっかり見なければなりません。	その他	ご意見として承ります。